

試案

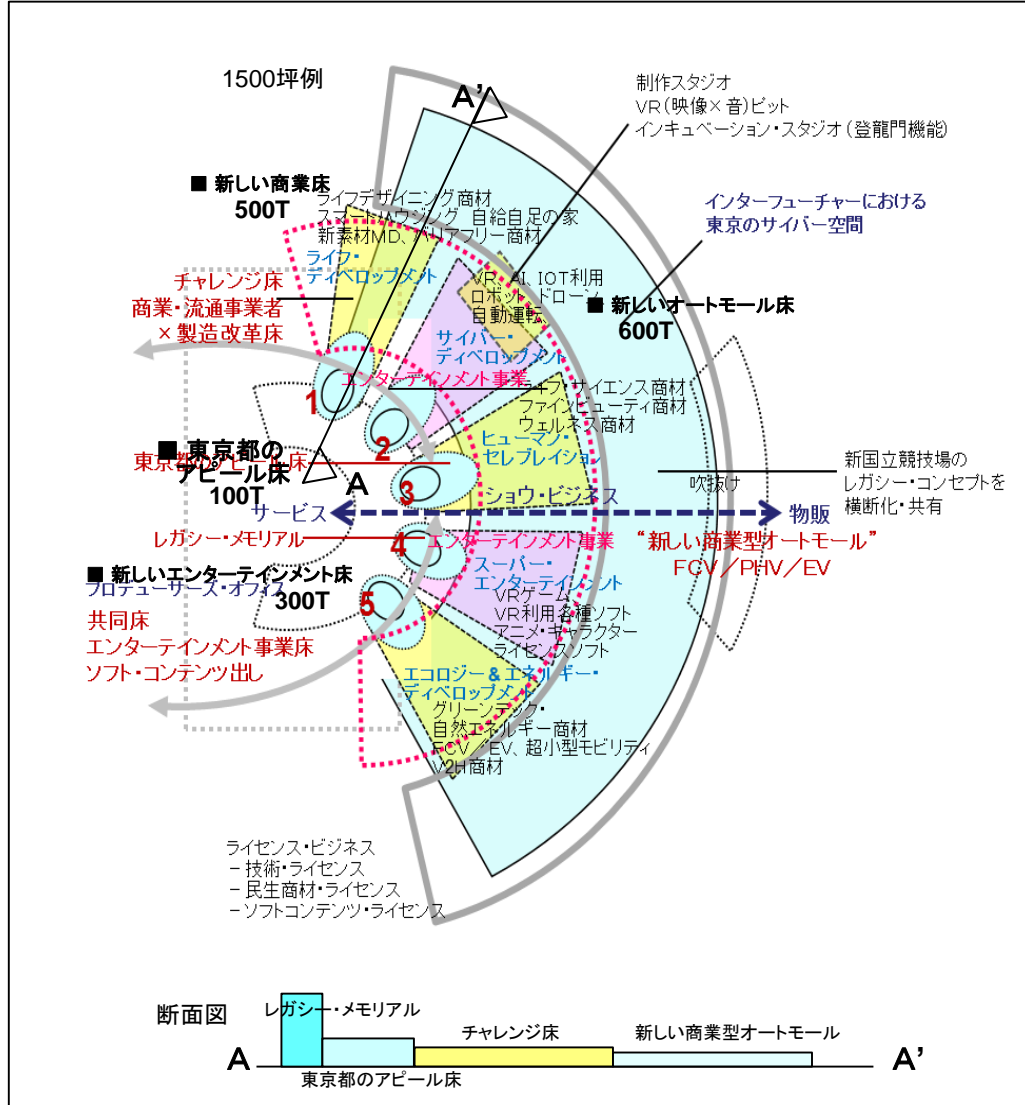
2020東京五輪の成功に向けた――

「東京の顔出しと 東京から始まる新しい小時代づくりのための
東京プロジェクト(「東京プラザ(仮称)」他) の具体化計画」

「超党派政策会合」
試案作製：鈴木浩二 総合プロデューサー
顧問：石原信雄 元官房副長官
Revised in Jan. 2017 / Dec. 2016 **取扱注意**

作業部会資料(2016年12月14日)改訂

―新しい小時代を牽引の 稼げる「東京プラザ(仮称)」 全体の戦略図



事業規模	投資額	売上
	200~300万円/T	(単年度)
	建築・設備 100~150億円	
	ソフト・コンテンツ開発費 ※ 100~150億円	
総計 10,500坪		
50T	(1箇所あたり)	(1箇所あたり)
・オート(オートメーカー版社)	1億~1.5億円	7億円
・物販(商業・流通事業者)		
・物販・サービス事業サポート(金融サービス事業者)		
・エンターテインメント(エンターテインメント事業者)		
・東京都		
250T		
・オートモール 100T	5億~7.5億円	20億円
・物販 50T		
・物販・サービス事業サポート		
・エンターテインメント 50T		
・東京都 50T		
500T		
・オートモール 200T	10億~15億円	40億円
・物販 200T		
・物販・サービス事業サポート(VISA)		
・エンターテインメント 50T		
・東京都 50T		
1500T		
・オートモール 600T	30億~45億円	131億円
・物販 500T		
・物販・サービス事業サポート		
・エンターテインメント 300T		
・東京都 100T		